

◆患者現況の大きな変化

- 増加の一途を辿る透析患者数
- 患者の高齢化
- 糖尿病を原疾患とする患者の急増
- 介護を必要とする患者の増加

全腎協の社団法人化
—当事者運動と公益的運動

◆治療環境の変化

- 医療、福祉をはじめとする社会保障政策
- 患者構成と家族構成

慢性腎臓病(CKD)対策
—世界的取組と日本での運動

全腎協 13

新・腎疾患対策確立のために
～一人ひとりが‘いのち’輝かせるために～

2006年(平成18)5月 設立35周年・法人設立10周年記念大会(大阪市)

I 腎疾患対策の総合的体系的検討と整備のための専門委員会を設置する

- ①国及び地方自治体で、腎疾患対策の専門委員会を設置する。
- ②この委員会は、行政及び医学・社会保障・その他の関係専門家、そして患者代表により構成する。

II 総合的腎疾患対策を確立する

1. 腎臓病患者、透析患者の増加を予防するために。
2. 各疾患の治療研究を進め、より質の高い治療とするために。
3. 安心して、十分な治療を継続するために。
4. 臓器移植推進体制を整備するために。
5. 患者個々の生活を支援するために。
6. 誰もが安心して治療生活を送れる社会保障制度であるために。

全腎協 14

◆研究課題と治療体制確立のための課題

1. 腎臓病患者、透析患者の増加を予防する。
 - ・国及び地方自治体、教育機関・保健所・診療施設等を通じた啓蒙活動と、予防から治療までの一環した管理体制の確立。
 - ・糖尿病対策の徹底
 - 糖尿病自体の予防啓発と、糖尿病の進行による腎症の発症を防ぐ。
 - ・腎臓病専門医—糖尿病専門医の連携した診療体制
2. 各疾患の治療研究
 - ・個別疾患の原因究明のための研究と治療法の確立
 - ・対症療法の研究と質的向上

継続した治療研究と、その成果に基づく
「予防—治療—管理」のための総合的システム整備が求められる。

全腎協 15

“私たちは、これ以上私たちの様な腎臓病患者を増やしたくない！！”

◆過去の「腎疾患対策」の成果
→腎臓疾患に関する治療と患者現況

- ①国民の生命・健康への危機の拡大
- ②一人ひとりのQOLの低下

◆医療費の膨張
→社会保障制度(政策)を圧迫

↓

「腎疾患総合対策」は、緊急の国民的課題

全腎協 16

私たちが果たす(果たすべき)役割について

◆私たちの療養体験・願いを伝える活動(啓発活動)

- ①腎臓病に関する学習会・シンポジウム等の開催(全腎協及び各県組織)
- ②臓器移植の普及・推進のための街頭キャンペーン活動 他(全腎協及び各県組織で、26年間継続しての取組)

◆政策に繋げる活動

- ①「腎疾患総合対策を求める」国会請願署名活動(結成以来35年間)
 - ここ数年、100万人署名を実現
- ②各政党との「腎疾患に関する懇談」実施
 - 議員への「腎疾患」に対する理解の深化へ

全腎協 17

2007年 請願事項

1. 腎臓病及び糖尿病の予防対策と腎不全・透析治療に移行しないための啓発活動を広く国民運動として取り組んで下さい。
2. 腎臓病の原因究明の研究を推進して下さい。
3. 年齢、障害の種別、程度を問わず、必要なすべての人に介護、移送が保障される制度を確立して下さい。
4. 通院の困難な在宅の透析患者のために、ホームヘルパーの増員、移送支援など通院介護保障体制と医療と福祉の連携による総合的対策を確立して下さい。

全腎協 18